

## チャレンジ項目記入数 15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・社訓の『誠実・協調・奉仕』をモットーに会社のあるべき姿について会議を通じて社員へ周知徹底している。 ・事務所の誰もが見やすいところに掲示し、常に意識するよう取り組んでいる。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守についての重要性をミーティングにて全社員に周知している。 ・特に建築については熊本県が定める基準より社内規定を厳しく定めている。 ・従業員の交通安全意識の向上に取り組み、無事故・無違反の継続を推進している。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公共工事の入札については、適正な価格で取引を実施している。 ・仕入先や取引先については社長と専務2人体制で確認し、設計単価に基づき公正な価格で取引をしている。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社長自らを責任者とし、自社の事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響をバリューチェーン分析を用いて把握し、社員へ周知する体制を整備している。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許や発明他、会社の機密情報についての規定を就業規則に設けており、企業機密の漏洩をしない旨全社員へ徹底している。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・契約書等の機密情報についてはファイルに保管または不要な個人情報については都度シュレッダーにかけ情報漏えいしないよう徹底している。 ・FAX送信については立ち合い送信を実施している。 ・個人情報については無断でコピーしないよう徹底している。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・行政機関との打ち合わせや工程会議を月に1回以上実施し、地域の住民の要望等もヒアリングし工期内に完了するよう取り組んでいる。 ・取引先との会議についてはリモートも活用し、都度連携できる体制を整えている。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・経済産業省の事業継続力強化計画制度に認定されている。							8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別を禁止する他、各種ハラスマントの禁止について就業規則に定め、従業員に周知している他、相談窓口を設置し、従業員が安心して相談できる環境づくりに取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全責任者を任命し、KY活動を実施している他、現場ごとに日報にて毎日安全確認を実施している。 ・コミュニケーションを大事にし、一人に仕事が偏らないように声かけを実施している。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金に沿って、基本給と技能、勤務成績、経験年数に応じた給与制度を設け、雇用形態に関わらない公正な待遇を行っている。					5.5			8.5 8.8		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・育児・傷病・看護休暇、産前・産後・育児時間の時短制度や時差出勤制度の就業規則を定め、基本残業なしで働きやすい環境への取り組みに力を入れている。 ・完全週休2日制、テレワーク制を導入している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修や資格取得については会社の経費負担であり、積極的に資格取得するよう人材育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・現場ごとに交通事故等への注意喚起や健康増進への取り組みの促進を行っている。 ・AEDの講習を受講している。 ・従業員及び家族の健康維持向上を呼び掛け、ミニバレーやソフトボール大会等のスポーツイベントへの参加を推奨している。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・健康経営優良法人に認定されている。			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国人の雇用実績もあり、人種、性別などの違いによる差別的待遇は行っていない。 ・再雇用制度を導入し、幅広い年齢層が活躍できる機会を提供している。				4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビ会議等を導入している。	●		・時短制度や時差出勤制度、テレワーク制度を就業規則を定め、柔軟な勤務体制により新しい生活様式への対応を行っている。 ・役所や設計士とオンライン会議を活用し、感染症対策とCO2削減を徹底している。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・測量時にドローンを活用し、業務効率化を図っている。 ・ICT施工を導入しており、計画の立案から進捗管理までを画面上で効率的に行っている。						8	9.1		11	12									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・熊本県プライト企業に認定されている。			3	4				8	9		12								

## チャレンジ項目記入数 15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・契約書にリサイクル等に係る記載があり、環境汚染予防に配慮した取り組みを行っている。 ・コンクリートやアスファルトについてはリサイクル、鉄くずやプラスチックの分別を徹底している。 ・排ガス対策型の重機を使用し環境に配慮している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所についてはLED照明にすべて変更し節電に取り組んでいる。 ・営業車についてはハイブリット車としCO <sub>2</sub> 排出の抑制に取り組んでい ・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社の電力・燃料の使用量を把握し、削減に取り組んでいる。						7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・営業車についてはすべてハイブリット車としCO <sub>2</sub> 排出の抑制に取り組んでい ・事務所に太陽光パネルを設置している。 ・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社CO <sub>2</sub> の排出量を把握し、削減に取り組んでいる。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・河川工事の際は泥水を下流に流さないよう対策を行い工事している。 ・コンクリートやアスファルトについてはリサイクル、鉄くずやプラスチックの分別と削減に取り組んでいる。 ・ブルーベリーやシイタケ、柿、すももの栽培や日本ミツバチ養蜂を行うことにより生物の生息・生育地の創出にも取り組んでいる。					6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・FSC認証の環境に配慮した再生用紙の利用を促進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・コンクリートやアスファルトについてはリサイクル、鉄くずやプラスチックの分別と削減に取り組んでいる。						9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・河川工事の際は泥水を下流に流さないよう対策を行い工事している。 ・ブルーベリーやシイタケ、柿、すももの栽培による「地域の緑化」に取り組む事により水資源への貢献を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.6				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・FSC認証の環境に配慮した再生用紙の利用を促進している。						9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・自社生産の農作物につき余剰分は加工食品として加工し商品化を行うことで、食品ロスが発生しない様にしている。	1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地域のグリーンクリーン活動による緑化活動に参加することや事務所周辺に花のプランターを設置する事等により緑の保全に取り組んでいる。 ・自社保有の山にてブルーベリーやシイタケ、柿、すももの栽培による有効活用を図ることにより「地域の緑化」に取り組んでいる。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・事務所に太陽光パネルを設置し、オフィスをLEDに変更し節電に取り組んでいる。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・自社施設については社有林にある木材を使用し建築を行っている他、伐採、植林を含め、適切に管理を行っている。					6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・自社での社有林を保有し、伐採、植林を含めた適切に管理を行っている。また、野生動物による森林破壊を未然に防ぐ設備を設け、森林保全に取り組んでいる。					6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックごみの分別を徹底している。 ・河川工事の際は泥水を下流に流さないよう対策を行い工事している。										12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO <sub>2</sub> 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO <sub>2</sub> 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・品質管理計画に基づきアフターフォローを充実している。 ・施工管理計画に出来高管理・品質管理計画・写真管理計画等を定め取り組んでいる。 ・シユミットハンマーによる強度試験、碎石の密度試験等を行い、品質、安全性を確保している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・中学校にバリアフリーの廊下設置やスロープ設置等を行い、ユニバーサルデザインに配慮した工事に取り組んでいる。 ・当社事務所についても手すりの設置や段差解消等のバリアフリー設計であり、車いすも常備している。								9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・建設の際は、熊本県産の木材や建設資材を積極的に使用している。 ・事務所と自宅については社有林にある木材を使用し、地産地消に取り組んでいる。	2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		・事務所と自宅については社有林にある木材を使用している。					7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域事業者として空き缶拾いやグリーンクリーン等のボランティアに積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを活用し、従業員だけでなく地域住民にもその内容を周知している。 ・連絡網を作成し、避難先について全社員へ周知している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・熊本県や南阿蘇村と防災協定を締結している。 ・災害の際は重機の貸出を実施している。 ・地域の消防団に加入している。 ・子ども110番の家協力事業所に登録している。 ・悪天候時でも安全に通学出来るように、屋根つきのバス停を設置した上で、スクールバスの停車場所を提供している。 ・AED講習を受講し、使い方や心肺蘇生などの知識の研修を社員へ行っている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・社内でSDGsに関する研修を実施し、役職員にSDGsへの意識が浸透している。 ・毎月22日を『SDGsの日』と設定し、全社員で現場や事務所周辺清掃等のボランティア活動を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●					4					8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4				8.5 8.6										
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●		・幼稚園児を対象に、ブルーベリーやスモモ狩りの体験を通じて、食育に取り組むための環境を整備している。	2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。